

# 日本で暮らすムスリムとしてのチャレンジ

シティ アミラ アマニ ビンティ アリアス  
経済学部 2年 マレーシア

私はマレーシアからの留学生です。マレーシアは多民族国家で、様々な人種や異なる宗教を持つ多くの方が住んでいます。それにもかかわらず、国教としてはムスリムの国です。私は子供の頃から、マレーシアにしか住んだことがありません。そんな私はムスリムの国ではない国に住んでいるムスリムたちのことを一切考えたことはありませんでした。しかし、実際に、日本に留学することになってから、自分の生活も大分変わってきました。ですから、今回は自分の経験をもとにして、日本あるいは和歌山で暮らしているムスリムのチャレンジについて書きたいと思います。

日本は言うまでもなく、ムスリムの国でもないし、住んでいるムスリムの数もそれほど多くはありません。だから、日本人はあまりムスリムの人を見たり、会ったりする機会はほとんどないと思います。さらに、そもそも「外国人」に会う機会もあまりないでしょう。そのため、ヒジャブをかぶっている私は常に奇妙に見られている気がします。最初は少し悲しかったです。何もしていないのに、子供が私の姿を見た途端、すぐ泣いてしまいました。電車の中では、私の隣にだれも座らないし、目を瞬くことなしにじっと見られたこともよくあります。しかし、時間がたつにつれて、だんだんそのようなことに慣れてきました。

私は友達を作るのが大好きですが、日本ではなかなか友達はできません。コミュニケーションの問題か、時々それ以外のことが理由なのかなと思っています。しかし、いつの間にか私は彼らが私と友達になりたくないわけではなく、恥ずかしいから私に話しかけないということがわかりました。日本人はそのような性格ですから、まず自分から話しかけなければならないことがわかってきました。

ある夜のことで、私と一人のマレーシア人の友達が家に帰る途中、驚いたことに知らない人が私たちに声をかけてきました。その人は同じ和歌山大学の学生で、1年上の先輩でした。実はこれが日本人から話しかけられた初めての経験です。その時、私は非常にうれしかったです。

友達は人生に必要ですが、生きていくために一番重要なのは食べ物です。イスラム教には食べ物や食べ方に関する守るべきルールがいくつかあります。みなさんはハラール商品について知っていますか。ハラールの食べ物はムスリムが食べられる食べ物のことです。アルコールや豚肉以外の食べ物またはイスラム教の特別な切り方で準備された肉が含まれています。東京や大阪のような都会でなら、ハラール商品は安易に手に入れることができますが、日本のハラール商品の発達はまだまだ遅いと思います。そのため、田舎に住んでいるとあまりハラールのレストランやハラール商品を売っている店は見かけません。

しかし、和歌山にはあるスーパーがたくさんハラール商品を売っています。そのスーパーの名前は「業務スーパー」です。そのスーパーでハラールの牛肉は買えませんが、鶏肉やから揚げなどいろいろな商品が買えます。牛肉を買いたいなら、「Baticrom」というオンラインショップがあります。その店は東京にあります。日本中に届けることができます。



大阪にはハラールのレストランがたくさんあります。和歌山市と大阪は近いので、焼き肉やラーメンを食べたくなったら、大阪に行きます。私はそれに満足していますが、せっかく日本にいるのに、ハラールではないラーメンを味わうことができないのは残念なことです。それはハラールのラーメンの作り方と材料が普通のラーメンと少し違うので、味も同じではないかもしれないからです。しかし、私は日本のハラール商品の発達がこれから進化しつつあると期待しています。

食生活のほかにイスラム教の人たちが注意することで、私たちの人生に最も必要なのは祈りのことです。みなさんは、どこに行っても、何があっても、毎日5回決まった時間にお祈りをしなければならないことを知っていますか。私の国にはどこにでもモスク(お寺のようなイスラム教のお祈りするための建物)や「プレーイングルーム」があります。日本には全然ないわけでもなく、あるのですが少ないです。例えば、神戸や東京にはあります。

面白い話ですが、私は日本に来てから、意外な場所でお祈りをしたことがあります。例えば、フィッティングルームや海岸です。マレーシアにいた間、このような場所でお祈りするとは思ってもみませんでした。お祈りするときは、隠れてお祈りをしなければ、追いつけたりすることもあります。私が感謝していることは、和歌山大学にムスリムの学生のための「プレーイングルーム」が備えられていることです。



最後に、私の作文を読んでいる皆さんにお願いしたいことがあります。外国人であっても、ムスリムであっても、みんな同じ人間ですから、仲よくしたり、お互いに文化や人生に関することを学んだりしましょう！これからも日本が「ムスリムフレンドリー」な環境をどんどん作り続けてゆくことを期待しています！

## **The Challenges of Living in Japan as a Muslim**

**SITI AMIERA AMANI BINTI ALIAS**

**Faculty of Economics / Malaysia**

As a person who was born and raised in an Islamic Country, never have I ever thought about the conditions and challenges of other Muslims living in a non-islamic country. However, when I started living in Japan as an International Student, I began to realise a lot of things that which I probably took for granted back in my own country. Some of the challenges include not being able to make friends as I look 'weird' wearing a hijab. Not only that, some kids even cried loudly when they saw me. Moreover, I also faced trouble in finding Halal food and Halal restaurants. Other than that, it's difficult to find a Mosque or even a place to perform my prayers. Lastly, I hope Japanese people reading my essay know that no matter our race and religion, we are all the same human beings, thus I hope we can live peacefully together and learn from each other's experiences. I also hope that in the future Japan can become a more Muslim friendly environment.

## **Cabaran Seorang Muslim yang tinggal di Jepun**

**SITI AMIERA AMANI BINTI ALIAS**

**Fakulti Ekonomi / Malaysia**

Sebagai seorang Muslim yang dilahirkan dan dibesarkan di Malaysia, sekali juga saya tidak pernah memikirkan keadaan dan cabaran saudara Islam yang tinggal di negara bukan Islam. Namun begitu, setelah tiba dan alami hidup di negara asing iatu Jepun ini sendiri, saya telah menyedari beberapa perkara tentang kehidupan di negara bukan Islam. Antara cabaran yang saya hadapi disini ialah, kesukaran untuk menjalinkan hubungan persahabatan bersama penduduk negara ini. Mereka seringkali memandang pelik akan diri saya yang memakai hijab. Terdapat satu kejadian dimana seorang kanak-kanak melihat saya dengan ketakutan dan menangis. Selain itu, saya jugak menghadapi cabaran untuk mencari makanan halal dan tempat yang sesuai untuk menunaikan ibadah solat. Akhir sekali, saya berharap bahawa penduduk Jepun sedar walau apa jua agama dan kaum, kita semua adalah manusia yang sama dia muka bumi ini. Maka, ayuhlah kita bersama-sama menjalinkan hubungan persahabatan sambil saling bertukar pengalaman hidup dan pengetahuan. Saya juga berharap agar Jepun menjadi negara mesra muslim di masa akan datang.